

		令和5年度学校評価 保護者対象		A	B	C	D	E
				とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全然思わない	分からない
項目	番号	評価事項						
学校目標と 学校運営	1	本部高校の教育目標は、生徒の発達段階に応じて設定され、21世紀の国際社会に対応できる人材を育成を目指した手立てがなされている。		7%	57%	24%	3%	9%
	2	本部高校の教職員は、学校が抱える教育課題の改善・解決に積極的に取り組んでいる。		7%	63%	16%	4%	9%
学習指導	3	本部高校の教職員は、学習指導を計画的に進め、「分かりやすく」「勉強が楽しく」「やる気が出る」授業をおこなっている。		12%	41%	26%	7%	13%
	4	本部高校の教職員は、科目成績の決め方を生徒と保護者にきちんと説明し、公平公正に評価している。		12%	53%	22%	4%	9%
	5	本部高校の教職員は、授業以外にも、課外講座や補習や単位修得のための課題提供で、生徒の学力向上に取り組んでいる。		22%	50%	16%	3%	9%
	6	本部高校の生徒は、真面目な態度で授業へ参加し、教室は学習する雰囲気 が保たれている。		9%	38%	25%	9%	19%
	7	我が子は、「勉強の大切さ」をよく理解し、学校の授業をしっかり受け、家でも自主的に学習に取り組んでいる。		7%	44%	37%	9%	3%
生活指導	8	本部高校は、生徒の健全育成を目指した生徒指導方針の下、粘り強く、心が通う生活指導を実践している。		9%	44%	25%	7%	15%
	9	本部高校は、「いじめも暴力も体罰もない」学校づくりとして、人権教育に力を入れている。		18%	46%	19%	6%	10%
	10	我が子は、健康的な食習慣と生活リズムを身につけ、時間にけじめを持ち、清々しい身なりで、日々を送っている。		13%	44%	38%	4%	0%
進路指導	11	本部高校は、生徒の将来について、生徒一人一人の興味・関心や能力・適性に応じた進路相談をおこなっている。		18%	48%	17%	3%	14%
	12	本部高校は、生徒の進路活動が充実するよう、有益な進学情報、就職情報、奨学金情報を提供している。		25%	43%	19%	3%	10%
	13	我が子は、自分の将来について、夢や希望、具体的な目標を持って、高校生活を送っている。		19%	38%	29%	12%	1%
教育相談	14	本部高校の教師は、生徒をよく観察し、困っている生徒がいれば、すぐ相談に乗り、見守っている。		15%	37%	15%	9%	25%
	15	我が子や保護者(私)にとって、本部高校の先生は「頼りになる存在」で、気兼ねすること相談ができる。		12%	44%	21%	9%	15%
美化	16	本部高校は、いつも清掃が行き届き、清潔で美しい教育環境が保たれている。		32%	49%	10%	3%	6%
環境	17	本部高校は、施設設備が充実し、教育環境の整備に取り組んでいる。		15%	46%	19%	1%	19%
安全管理	18	本部高校は、我が子が安心安全に学校生活を送れるよう、防犯やネット利用の危険性や防災に対する教育に力を入れている。		13%	41%	19%	3%	24%
	19	本部高校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。		13%	40%	19%	4%	24%
特別活動	20	本部高校は、部活動が活発におこなわれ、学校は活気にあふれている。		7%	24%	34%	19%	16%
	21	我が子は、部活動や生徒会活動などに取り組み、充実した学校を送っている。		15%	37%	31%	12%	6%
学地域と生徒関係・家庭・	22	本部高校は、家庭(保護者)や地域と密に連絡を取り合う体制ができています。		7%	49%	19%	9%	16%
	23	本部高校は、学校行事や生徒の活動などの情報を家庭や地域に積極的に配信している。		16%	43%	24%	4%	13%
	24	我が子は、本部高校へ入学して良かった、と思う。		31%	50%	9%	3%	7%

考察(保護者対象)

保護者からの要望があり、令和元年度から回答の選択肢に「分からない」を加えている。今年度、「分からない」と回答した率が10%以上だった項目は14項目で、昨年度(R04)の20項目より、6項目減少した。コロナ対策の緩和化により、授業参観や各種行事等において保護者が学校へ訪問する機会が増えたことが要因の一つであると考えられる。今後は、さらに保護者が学校を訪れる機会を増やすとともに、情報発信を強化する必要がある。

また、学校評価項目数24のうち、肯定的回答が80%を超える項目は、2項目(令和4年度:1項目)であった。考察においては特に評価の高かった事項と、特に評価の低かった事項について取り上げる。

【特に評価の低い項目】

項目No.7「我が子は、『勉強の大切さ』をよく理解し、学校の授業をしっかり受け、家でも自主的に学習に取り組んでいる。」については、「とても思う」「まあまあ思う」と回答した肯定的意見が昨年度より8ポイント増え、51%であった。しかし、今年度も46%(昨年度:43%)の保護者が、「あまり思わない」、「全然思わない」と否定的回答をしている。生徒のアンケートにおいても、否定的回答(「あまり思わない」、「全然思わない」)が60%をしめていたことから、生徒・保護者ともに、学習習慣の定着が課題であると捉えていることがうかがえる。

項目No.20「本部高校は、部活動が活発におこなわれ、学校は活気にあふれている」について、53%の保護者が「あまり思わない」、「全然思わない」と回答している。これまでのコロナ禍の影響や部活動の加入率の低下等により、部活が活発でない状況と保護者が捉えていることがうかがえる。

項目No.21「我が子は、部活動や生徒会活動などに取り組み、充実した学校生活を送っている」についても、43%の保護者が「あまり思わない」「全然思わない」と回答しており、諸活動を通して、充実した学校生活を送っていると保護者が実感するためには、部活動や生徒会活動の活性化の工夫が必要である。

【特に評価の高い項目】

項目No.16「本部高校は、いつも清掃が行き届き、清潔で美しい教育環境が保たれている。」について、81%と肯定的回答が高かった。施設は古いですが、美化活動や清掃活動をはじめ、環境整備に継続的に取り組んでいる成果が現れている。

項目No.24「我が子は、本部高校へ入学して良かったと思う」が、肯定的回答が81%と高い数値を示していることは、様々な教育活動を通しての本校の取組が評価されたものと考えられる。

今後も、「地域に根ざし、地域から愛され、信頼される安心安全な学校」を目指してまいります。